

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	精神看護学概論	1	15	2年次 ・ 1学期
担当講師	非常勤教員（病院での精神科看護経験、専任教員経験あり）			
授業概要	心の発達や健康を踏まえ、個別性と普遍性の両面から心の病気の考え方を理解する。社会的環境の変化にともない精神保健のあり方も大きく変化してきた。精神保健の考え方と現代の社会病理の様相、生活の場面との関わりの中で捉えた精神保健の変遷、法制度とともに、精神看護の役割について学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 心の健康について理解する。 2. 心の健康に及ぼす要因について理解する。 3. 社会環境の変化による社会病理と精神保健にかかる精神看護の役割を理解する。 4. 精神保健活動の変遷、法制度の概要を理解する。 			
回数	授業内容			担当者
第1回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護学で学ぶこと <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神・心の考え方（脳の機能構造・機能） 2) 精神障害をもつ人の病の体験 3) 心のケアと日本社会 4) 精神看護の課題 			
第2回	<ol style="list-style-type: none"> 2. 精神保健の考え方 			
第3回	<ol style="list-style-type: none"> 1) 精神の健康 2) 心身の健康に及ぼすストレスの影響 3) 心的外傷と回復（レジリエンス・ストレングス） 4) 精神障害という考え方 			
第4回	<ol style="list-style-type: none"> 3. 心のはたらきと人格の形成 <ol style="list-style-type: none"> 1) こころのはたらき 2) 心のしくみと人格の発達 3) 精神力動理論 			
第5回	<ol style="list-style-type: none"> 4. 関係の中の人間 <ol style="list-style-type: none"> 1) システムとしての人間関係 2) 全体としての家族 2) 人間と集団 			
第6回	<ol style="list-style-type: none"> 5. 社会のなかの精神障害 <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神障害の治療の歴史（世界・日本） 2) 精神障害と法制度 			
第7回	<ol style="list-style-type: none"> 6. 医療の現場におけるメンタルヘルスと看護、リエゾン看護 <ol style="list-style-type: none"> 1) リエゾン精神看護とその活動 7. 災害時のメンタルヘルスと看護 			
第8回	<ol style="list-style-type: none"> 8. 認定試験 			
自己学習・関連科目	心理や発達に関する用語および、医療に関する法規を再確認し授業に臨む。都度、用語の理解に努めてください。 関連科目：「精神看護対象論」「看護の実践Ⅰ」			
テキスト	系統看護学講座 専門分野 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 専門分野 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院			
評価方法	筆記試験及びレポート課題等（筆記試験 70%、レポート課題 30%）			

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	精神看護対象論	1	30	2年次 ・ 1学期
担当講師	非常勤講師 (医師)			
授業概要	精神障害を抱える対象は自分の体験や解決したい課題を伝えられないか、もしくは伝えたくない場合があり、看護者は対象の外観や表情、反応から推測し理解していく。精神障害者に起きている精神現象を疾患や病態を手掛かりに、病気の体験という視点から理解する。また、病気の状態・程度を捉えようとする検査や精神障害者が受けている治療を知り、精神疾患を発症した対象がたどる回復過程を学ぶ。			
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神障害の病態を理解する。 2. 精神障害者が体験する症状・状態像、症状に対する治療、人としての回復を促進する治療を理解する。 3. 病気の状態・程度を捉えようとする検査を理解する。 4. 精神障害者の回復過程を理解する。 			
回数	授業内容	担当者		
第1回 ～9回	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神科疾患のあらわれ方 <ol style="list-style-type: none"> 1) 精神を病むことと生きること (精神障害と治療の歴史) 2) 精神症状論と状態像 (症状・診断基準) 3) 精神障害の診断と分類 <ol style="list-style-type: none"> (1) 症状を含む器質性精神障害 (2) 精神作用物質による精神・行動の障害 (3) 統合失調症、統合失調感情障害、急性一過性精神病性障害 (4) 気分 (感情) 障害 (5) 神経症性障害、ストレス関連障害 (6) 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群 (7) せん妄 (8) 成人のパーソナリティおよび行動の障害 (9) 性同一性障害 (10) 知的障害／精神遅滞 (11) 心理的発達の障害 (12) 小児期および青年期に通常発症する行動および情緒の障害 			
第10回 ～14回	<ol style="list-style-type: none"> 2. 精神科での治療 <ol style="list-style-type: none"> 1) 身体療法 (薬物療法・電気けいれん療法) 2) 精神療法 入院治療 (入院形態・隔離・拘束) 3) 環境療法・社会療法・生活技能訓練 (S S T) 3. 検査による状態把握：脳波検査・心理検査 4. 精神疾患の回復過程 			
第15回	<ol style="list-style-type: none"> 5. 認定試験 			
関連科目	関連科目：精神看護学概論、成人健康維持論、地域・在宅援助論Ⅱ、看護の実践Ⅰ			
テキスト	系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院			
参考図書	中井久夫・山口直彦著 看護のための精神医学 医学書院			
評価方法	筆記試験：100%			
備考	症候各論では精神疾患・精神障害を学ばないため、精神看護対象論として学ぶ。			

分野	授 業 科 目 名	単位数	時間数	開講時期
専門	精神援助論 I	1	30	2 年次 ・ 2 学期
担当講師	専任教員 (病院での精神科看護経験あり)、非常勤講師 (精神科病棟での看護経験あり)			
授業概要	心を病んだ人の健康の回復とは全人的な回復である。人との関係性に傷つき、自信を失くしている対象のこころとからだをケアする。回復を促進する環境や関わりを理解し、ケアの方法を学ぶ。対象のこころとからだを癒し、安全を図り、生活を整え、生きる力と強さを支えるケアを学ぶ。			
授業目標	1. 心の健康を回復する物理的・人的環境を理解する。 2. 心の健康を回復する経過と回復を促進する看護を理解する。 3. こころとからだのケア、生活を整えるケアを理解する。			
回数	授 業 内 容	担 当 者		
第 1～4 回	1. ケアの人間関係 1) ケア的前提・原則・方法 2) 共同意思決定、共同創造 (コプロダクション) 3) 関係をアセスメントする (プロセスレコード) 4) 患者－看護師関係でおこること	第 1 回 ～4 回		
第 5～8 回	2. 入院治療の意味 1) 精神科を受診するということ 3) 治療の器としての病院・病棟 2) 入院中の観察とアセスメント 4) 退院に向けての支援とその実際 3. 身体をケアする 1) 精神科における身体のケア 2) 精神科における身体を通じた看護ケアの実際 3) 精神科の治療に伴う身体のケア 4) 身体合併症のアセスメントとケア	第 5 回 ～8 回		
第 9 回 ～14 回	4. 安全をまもる 1) リスクマネジメントの考え方と方法 2) 緊急事態に対処する(自傷・自殺・暴力等) 5. 精神疾患・精神症状への援助 1) 統合失調症 2) 気分(感情)障害(うつ病、双極性感情障害) 3) 神経症性障害、ストレス関連障害(パニック障害、PTSD、適応障害) 4) 精神作用物質(アルコール、薬物)使用による精神行動の障害 5) 生理的障害・身体的要因に関連した行動症候群 6) せん妄	第 9 回 ～14 回		
第 15 回	6. 認定試験	第 15 回		
自己学習・ 関連科目	心理学にかかる防衛機制や人間関係に関する理論を復習する。精神障害にかかる症状・検査・治療とつなげて援助を理解する。関連科目:「老年援助論Ⅱ」「母性援助論」			
テキスト	系統看護学講座 精神看護の基礎 精神看護学① 医学書院 系統看護学講座 精神看護の展開 精神看護学② 医学書院			
参考図書	長谷川雅美他編著 自己理解・対象理解を深める プロセスレコード 日総研			
評価方法	筆記試験 100% (第 1～4 回: 30%、第 5～8 回: 30%、第 9～14 回: 40%)			

独立行政法人国立病院機構金沢医療センター附属金沢看護学校授業計画 (Syllabus)

分野	授業科目名	単位数	時間数	開講時期
専門	精神援助論Ⅱ	1	30	2年次 ・ 2学期
担当講師	非常勤講師 (精神科病棟での看護経験あり)			
授業概要	精神障害者・家族の回復とは何かを知り、回復の過程、回復を支える様々な方法、回復を促進するために必要な知識・技術を学ぶ。精神障害者及び家族の地域生活を支える医療福祉制度やケアマネジメントを学ぶ。精神障害者に必要な看護を事例を通して学ぶ。			
授業目標	1.リハビリテーション・リカバリーの考え方を理解する。 2.精神障害者及び家族の回復を支えるさまざまな方法を身につける。 3.地域で暮らす精神障害者の生活を支える法制度やサービスを知る。 4.精神障害者と家族の地域生活を支えるケアマネジメントを理解する。 5.精神障害者の看護の必要性和看護の実践を考える。			
回数	授業内容			担当者
第1回	1. 回復を支援する			第1回 ～6回
第2回	1) 回復の意味、リハビリテーションから回復 (リカバリー) へ			
第3回	2) リカバリーを促す環境			
第4回	3) さまざまな回復のためのプログラム			
第5回	4) リカバリーのプロセス			
第6回	2. 地域におけるケアと支援			
第7回	1) 器としての地域			第7回 ～15回
第8回	2) 地域生活における生活支援の方法			
～14回	地域生活を支えるシステムと社会資源			
第15回	3) 地域におけるケアの方法と実際			
	ケアマネジメントという方法、アウトリーチと他職種連携			
第7回	3. ところに健康障害のある人の看護			第7回 ～15回
第8回	1) 幻覚・妄想のある人の看護			
～14回	2) 希死念慮のある人の看護			
第15回	3) 飲酒をやめられず、何度も入退院を繰り返す人の看護			
第15回	4. 認定試験			
自己学習 関連科目	ICFの考え方を理解しておく。 関連科目：精神援助論Ⅰ・在宅援助論Ⅱ			
テキスト	系統別看護学講座 専門分野 精神看護学① 精神看護の基礎 医学書院 系統別看護学講座 専門分野 精神看護学② 精神看護の展開 医学書院			
参考図書	Underwood,P.R 著 オレムのセルフケアモデル ニューヴェルヒロカワ 田中美恵子編著 精神看護学 学生－患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版 白石壽美子、武政奈保子編 全人的視点に基づく精神看護展開 医歯薬出版			
評価方法	筆記試験及び授業態度等から総合的に評価 (第1～6: 40%、第7～14回: 60%)			
備考	第7回～14回はペーパーペイシエントを用いて、ところに健康障害のある人に必要な支援を考える。			